



HEARTIRY代表  
四方 寛  
Hiroshi Shikata

「今回のミーティングは2度も3度も美味しいですよ。ミーティングに参加ついでに隣のドレコンも見られる。名刺やLINEの交換をして友達を作れば、次のドレコンに行くきっかけにもなると思います」。

# 「お客サンとの距離を縮めたい！」

「自由に参加できて自由に帰れるのもミーティングの魅力だと思います。奥サンや子どもがいる人は1〜2時間クルマを見たら淡路島を観光するなど、自分のペースで時間を使えますし。クルマもドレコンと違って並べ替えもできるので、コロボ撮影もしやすいです。参加費用もドレコンよりも安いので（入場料1000円+駐車料金500円）、より気軽に参加できると思います。隣では翔プロさんのドレコ

## 6月4日は淡路島に集まって軽カ 一業界を盛り上げよう!!



ンと軽トラのオフ会も開催するからクルマをいっぱい見ることができるとか、参加したら記念タオルでもらえるからかなり得した気分になりますよ。

四方 最近では集まれる場所が軒並み閉鎖されていて、それも結局ドレスアップの先輩たちがダメにして

いるんですけど、その辺に

ナリーを守る僕らが運営するから安心して参加してもらえ、最後に全員でゴミ拾いもします。楽しい一日を過ごしてもらうために、僕らも一生懸命頑張りますよ。催し物も皆サンの意見を聞きながら決めたいと思います。

大林 メーカーさん主体でやったら健全だと思っし、確実に行きやすいと思います。クルマがノーマルでも全然いいんですよ。とりあえず足を運んでも

らかなり得した気分になりますよ。

四方 最近では集まれる場所が軒並み閉鎖されていて、それも結局ドレスアップの先輩たちがダメにして

いるんですけど、その辺に

ナリーを守る僕らが運営するから安心して参加してもらえ、最後に全員でゴミ拾いもします。楽しい一日を過ごしてもらうために、僕らも一生懸命頑張りますよ。催し物も皆サンの意見を聞きながら決めたいと思います。

大林 メーカーさん主体でやったら健全だと思っし、確実に行きやすいと思います。クルマがノーマルでも全然いいんですよ。とりあえず足を運んでも

らかなり得した気分になりますよ。

四方 最近では集まれる場所が軒並み閉鎖されていて、それも結局ドレスアップの先輩たちがダメにして

いるんですけど、その辺に

ナリーを守る僕らが運営するから安心して参加してもらえ、最後に全員でゴミ拾いもします。楽しい一日を過ごしてもらうために、僕らも一生懸命頑張りますよ。催し物も皆サンの意見を聞きながら決めたいと思います。

大林 メーカーさん主体でやったら健全だと思っし、確実に行きやすいと思います。クルマがノーマルでも全然いいんですよ。とりあえず足を運んでも

らかなり得した気分になりますよ。

四方 最近では集まれる場所が軒並み閉鎖されていて、それも結局ドレスアップの先輩たちがダメにして

いるんですけど、その辺に

ナリーを守る僕らが運営するから安心して参加してもらえ、最後に全員でゴミ拾いもします。楽しい一日を過ごしてもらうために、僕らも一生懸命頑張りますよ。催し物も皆サンの意見を聞きながら決めたいと思います。

大林 メーカーさん主体でやったら健全だと思っし、確実に行きやすいと思います。クルマがノーマルでも全然いいんですよ。とりあえず足を運んでも

らかなり得した気分になりますよ。

四方 最近では集まれる場所が軒並み閉鎖されていて、それも結局ドレスアップの先輩たちがダメにして

いるんですけど、その辺に

ナリーを守る僕らが運営するから安心して参加してもらえ、最後に全員でゴミ拾いもします。楽しい一日を過ごしてもらうために、僕らも一生懸命頑張りますよ。催し物も皆サンの意見を聞きながら決めたいと思います。

大林 メーカーさん主体でやったら健全だと思っし、確実に行きやすいと思います。クルマがノーマルでも全然いいんですよ。とりあえず足を運んでも

らかなり得した気分になりますよ。

四方 最近では集まれる場所が軒並み閉鎖されていて、それも結局ドレスアップの先輩たちがダメにして

いるんですけど、その辺に

ナリーを守る僕らが運営するから安心して参加してもらえ、最後に全員でゴミ拾いもします。楽しい一日を過ごしてもらうために、僕らも一生懸命頑張りますよ。催し物も皆サンの意見を聞きながら決めたいと思います。

大林 メーカーさん主体でやったら健全だと思っし、確実に行きやすいと思います。クルマがノーマルでも全然いいんですよ。とりあえず足を運んでも

らかなり得した気分になりますよ。

四方 最近では集まれる場所が軒並み閉鎖されていて、それも結局ドレスアップの先輩たちがダメにして

いるんですけど、その辺に

ナリーを守る僕らが運営するから安心して参加してもらえ、最後に全員でゴミ拾いもします。楽しい一日を過ごしてもらうために、僕らも一生懸命頑張りますよ。催し物も皆サンの意見を聞きながら決めたいと思います。

大林 メーカーさん主体でやったら健全だと思っし、確実に行きやすいと思います。クルマがノーマルでも全然いいんですよ。とりあえず足を運んでも

らかなり得した気分になりますよ。

四方 最近では集まれる場所が軒並み閉鎖されていて、それも結局ドレスアップの先輩たちがダメにして

いるんですけど、その辺に

同じ会場で同時開催

翔プロ主催のドレコン&軽トラオフ会もエントリー募集中です!!

6月4日。同じ場所では翔プロデュース主催のドレスアップイベント「Show's K-Car フェスティバル」、そして軽トラだけのオフ会「軽トラ大集合」も開催される。きっと会場内のKカーは数百台規模になるはずだ。ドレコンで頂点を目指したいユーザーや軽トラオーナーは、こちらに参加するのもいいだろう。もっとラフな感覚で遊びに行きたいなら、都合がいい時間に入場できて好きな時間に帰ることができるキングオブKカーミーティングに行くのがオススメ。「この日はお腹いっぱいになって帰ってもおもうと思います」と四方サン。

コッチも要チェックや〜

2017年 6月4日

会場：淡路島 明石海峡公園 臨時駐車場

同時開催 Show's K-Car Festival ALL K-CAR EVENT

軽トラ大集合

「僕もバイクでミーティングに行きますが、着いたらバイクをちょっと見てメシ食いましょうか〜って流れが多い。ずっと束縛されると窮屈だし、好きなときに来て帰るのがミーティングのいいところですね。」

Kブレイク 大林一樹のねん分け

http://www.k-break.com

# 大盛りごはん

まいど!!

## 今月は... 6/4(日)淡路島にて開催 KING OF K-CAR MEETING

先月号でお伝えした通り、6月に開催されることが決定したキングオブKカーミーティング。今までのキングオブKカーとはどう違うのか? そして開催する意義とは? 今月の大盛りごはんは特別企画。主催者であるハーターリーの四方サンも交え、キングオブKカーミーティングへの思いを語ります!



Kカーのドレスアップイベントとしては、日本最大級の規模に成長したキングオブKカー。この日に照準を定めて仕様変更するオーナーもいるほど、毎年気合いが入ったユーザーが数多くエントリー。そして今年の6月、「キングオブKカー」の名を冠したミーティングが開催される。キモとなるのが今回はいつものドレコンではなく、あくまでも「ミーティング」。大林 これは皆サンが思っていることだと思っんですけど、最近ではドレコンの敷居がちょっと高くなってきていると思うんですけどね。その一方で、オフ会・ミーティングに参加する人が増えてきています。だから僕らメーカーやショップが主体となって、気軽に参加できるミーティングを開催することができないかなって。ドレコンも面白いですが、それよりも敷居が

こちらが記念タオル

第1回 KING OF K-CAR Meeting in Awaji-shima 2017.06.04

Now Printing

出展予定のメーカー&ショップのロゴが入ったオリジナルタオル。参加しないともならない貴重な限定モノだ。「タオルって結構マニアが多い。毎回イベントに参加して、もらったタオルをコレクションしている人もいますよ」と大林サン。コレクターはぜひ淡路島へGO!

# 「かなり得した気分になれるかも」

(大林)

低くて。ドレスアップの初心者でも参加しやすい場所を作ったんですけど、そこで四方サンに相談したんです。キングオブKカーは軽のドレコンとしては最高峰だけど、そういう場所になかなか入り込めない人も参加できるミーティングをやりたい。クルマを見たり、イジっている人の話を聞いたり。観光ついでに寄られて、そして記念品でもらえる。ドレコンとは違ったクルマが集まれる場がないと、Kカーのドレスアップが盛り上がりません。モノを売るだけでなく、業界を盛り上げるのも僕らの仕事だと思っんです。四方 去年の8月末くらいから話を進めていって、まずは西で1回やってみよう。そして反響があれば、今度は関東でも開催できたらいいなと考えました。その話を、昨年末に各メーカー&ショップさんに伝えました。大林 「そういう考えなら、ぜひ協力したい」という声が多かった。当日は旗振りなどの手伝いも僕らみんなやらうことが大切だと思っっています。四方 あと今回は、出展するメーカーとお客サンの距離をめちゃくちゃ縮めようと思っっているんです。僕らとお客サンが一緒になって何かをする。そういう催し物ができたらいいなって。例えばメーカーさんがみんなで止まっているクルマを見に行っって、ユーザーさんいろいろ話しかけたりとか。そういうのもありかなと思っっています。大林 「こんなにKカーが集まっているんだ!」というのを、淡路島に来た皆サンに感じてもらいたいです。仮に今回参加台数が少なかったとしても、やり続けることが大切になって。まずは6月4日はみんな楽しんで過ごして、暗くなる前に帰りますよ(笑)。



K-BREAK代表  
大林 一樹  
Kazuki Obayashi